

科目名	コミュニティ・ビジネス論	科目分類	□教養科目 ■専門科目	
			経済	経済
英文表記	Community Business	開講年次	□1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	のぐち ひでゆき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	野口 秀行	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	コミュニティ・ビジネスが地域を活性化する			
授業概要	コミュニティ・ビジネスの目的は、住民主体のスモールビジネスを導入し、コミュニティに存在する様々な問題の解決に貢献することにあるが、それはボランティアと企業の中間的な領域に位置しているものであり、地域社会のネットワークに支えられて成立しうるものでもある。各地で芽吹きつつあるコミュニティ・ビジネスは、バランスの取れた経済社会の発展を支えるという側面からみても、社会的な意義は大きいといえる。			
到達目標	オールタナティブ・エコノミーの最先端を学ぶ			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件	地域に関心を有していること			
授業計画				
第1回	コミュニティ・ビジネスとは			
第2回	もう一つの経済（ノン・プロフィット・エコノミー）が果たす役割			
第3回	NPOとコミュニティ・ビジネス～地域を変える力とは			
第4回	欧米におけるコミュニティ・ビジネスの事例～豊かさを実感できる社会の構築			
第5回	我が国におけるコミュニティ・ビジネスの事例～いま地方が面白い！			
第6回	コミュニティビジネス・スモールビジネス・ソーシャルビジネス			
第7回	我が国における起業環境とベンチャー・ファンド～PEF及びBOFを中心に			
第8回	CSR・SRIと人権～ナイキのセレクト・ショップ			
第9回	TPPと中小企業のグローバル化			
第10回	地域金融論～欧米の多様なコミュニティ・ファイナンスと我が国のNPOバンク			
第11回	ソーシャル・インパクト投資、ダブル・ボトム・ライン（DBL）ファンド			
第12回	我が国におけるコミュニティ・ファイナンスの事例			
第13回	ソーシャルビジネスと老舗企業～近江商人の三方芳			
第14回	シェアリング・エコノミー～ライドシェア、民泊			
第15回	地方創生法におけるコミュニティ・ビジネスの役割と今後			
第16回	期末試験			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。			
成績評価基準	<p>【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>			

オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日
学生への メッセージ	地方創生において一段と注目されるコミュニティ・ビジネスを学びます。